



デジタルデータの活用で、版下代が削減できます!

チェックするポイントは3つ

作製したアプリケーションは
イラストレーターですか?

Word、Excel等のデータは
そのまま使用できません!



画像は鮮明ですか?

モノクロ1200dpi、カラー350dpiが必要です。
インターネットのロゴや写真は72dpiで
版下としては使用できません。

書体(フォント)は大丈夫??

イラストレーターを使用して
文字をアウトライン化することで
書体を保持する事ができます。

デジタルデータ入稿の際のご注意

データ作製について



- IllustratorとPhotoshop(配置画像など)のアプリケーションを使用して作製したデータにて入稿してください。
- .jpgや.bmpという拡張子の付いた画像データ、またExcel、Word、PowerPoint等で作製されたデータは、そのまま版下としては使用できませんのでご注意ください。再入稿して頂くか、弊社にて修正が必要な場合は、別途データの加工料が必要です。

※使用アプリケーション名とバージョンを明記してください。

※モノクロ2階調の版下の場合はIllustrator ver.8保存を推奨します。

- 入稿前に必ずアウトライン化前データのバックアップをとってください。

- 通常は印刷トンボではなく外形のアタリ罫(0.1mm)を引いてください。版下用の外形データは支給いたしますのでご相談ください。



- フォント(書体)は必ずアウトライン化してください。参照・・・図1

※アウトライン化することでフォントが文字ではなくオブジェクト(図形)として認識され、お客様が使用されたフォントが弊社にない場合にも正しく表示されます。

※アウトライン化していないデータは、お客様の使用されたフォントが弊社にある場合にのみ、文字の修正が可能になります。

図1

フォント フォント

※アウトライン化した状態

※アウトライン化していない状態



- Illustratorでのデータ保存の際は以下の点をご確認ください。

※Illustratorに画像データを配置した場合、その配置データも忘れず同じフォルダに保存してください。

※埋め込み画像の場合はデータ修正ができませんのでご了承ください。

※画像データを配置の場合はモノクロ2階調・グレースケール・CMYKのいずれかでEPS形式で保存してください。
(カラーの場合、RGBモードのまま保存されますとプリントアウトした時に色味が変わってしまいます)

※画像解像度：モノクロ2階調(ロゴマーク等)・・・仕上がりサイズで1200dpi

※画像解像度：カラー・グレースケール(写真等)・・・仕上がりサイズで350dpi

- インターネットからダウンロードやコピーした画像、ロゴマーク(解像度72dpi程度のもの)は著作権で保護されているものが多く、解像度も低いため高品質の印刷ができません。

そのため版下としてはご使用出来ません。(解像度が低いものも画面上ではきれいに見えます)

高解像度

低解像度



- ダイレクト・デジタルプリントについて・・・カタログ参照ページP59(T59-01)

※特に指定のない場合は発色保持のためカラーインクの下に白インクを重ねて印刷しています。白を重ねる部分にはその形のバスターデータが必要となる場合がありますので、ご注意ください。

版下

白版(黒い部分に白が印刷されます)

仕上がり商品



入稿について

- デジタルデータの入稿については以下の点にご確認ください。

※メディアには使用するデータ以外は入れず、出力書類がわかりやすいように整理しておいてください。

- その他注意点

※Quark XPressやInDesignでの入稿はご遠慮ください。

※出力見本がある場合は添付してください。※データファイル数が多い場合などは必ず出力見本を添付してください。

※製作方法・仕上げの違いにより、上記条件と入稿方法が異なる場合がございます。

※ガラス圧着・熱転写の校正カラープリント出力は実際の仕上がりで色味が異なる場合がございます。

※メールにて入稿される場合はデータの破損を防ぐために.sit.zip.lzhのいずれかで圧縮したうえで送付してください。

※Windows、Macintosh 両環境に対応しております。